

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

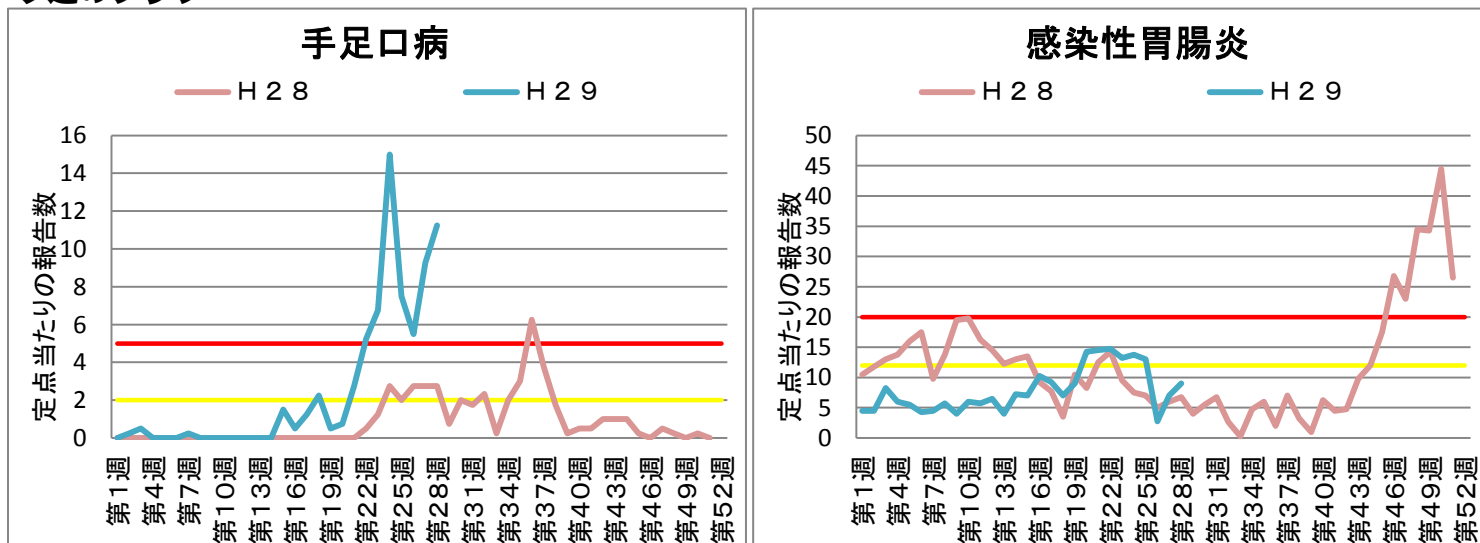
第 28 週 平成29年7月10日 ~ 平成29年7月16日

今週のコメント

○ 手足口病の報告が2週連続で再上昇しており、流行警報レベルが続いています(定点あたり11.25)。手足口病は、口の中、手、足などの水疱性発疹と発熱を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心として夏季に流行します。基本的には数日で治癒しますが、ときに髄膜炎などの合併症を呈することがあります。くしゃみなどの飛沫や接触などによって感染するので予防のために、帰宅時や食事前の手洗いやうがいを心がけ、タオルの共用は避けましょう。ウイルスはしばらく便中に排泄されるので、トイレ後やおむつを替えた後の手洗いも大切です。

○ 夏休みに海外旅行に行かれる方は、「夏休みにおける海外での感染症予防について(厚生労働省)」をご覧ください。http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	11.25
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.25
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	9	ヘルパンギーナ	0.75
水痘	-	流行性耳下腺炎	0.25

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数: 7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病): 4箇所

参考資料等

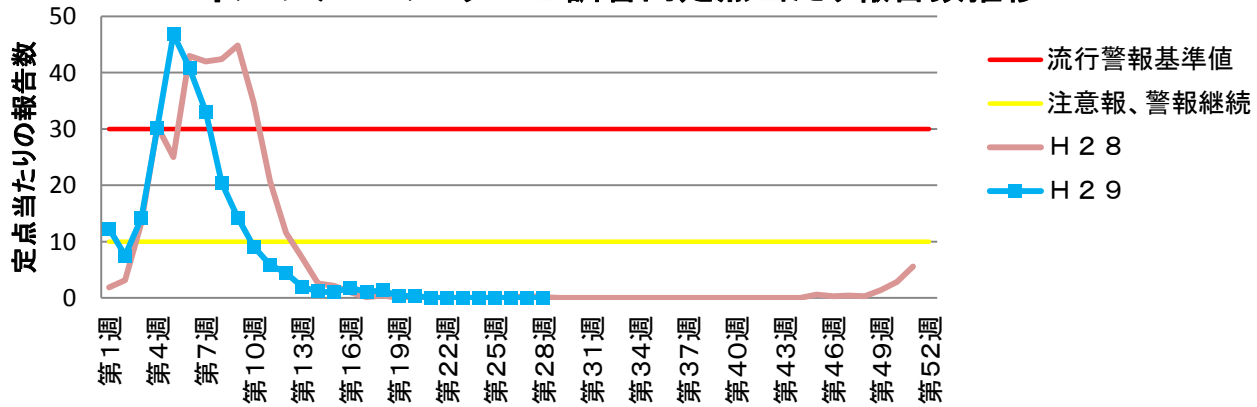
報告週対応表

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

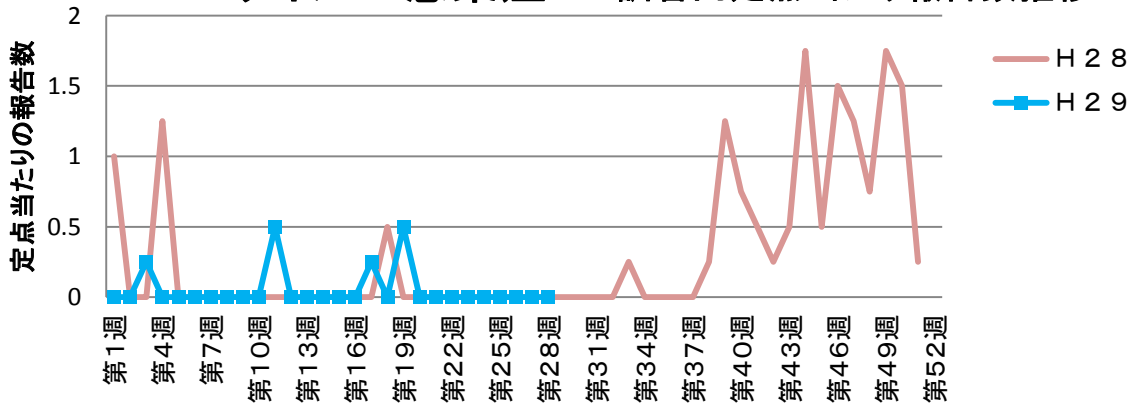
警報・注意報基準値の説明

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

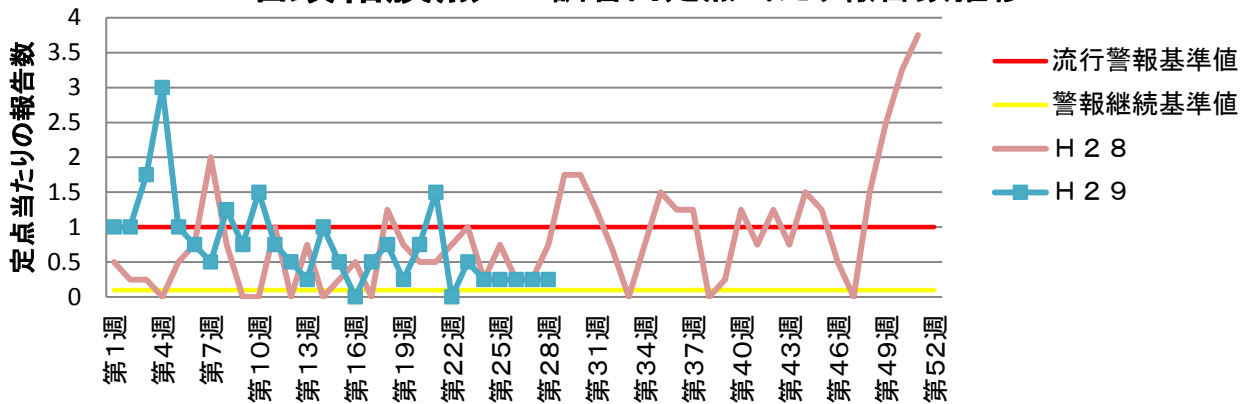
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



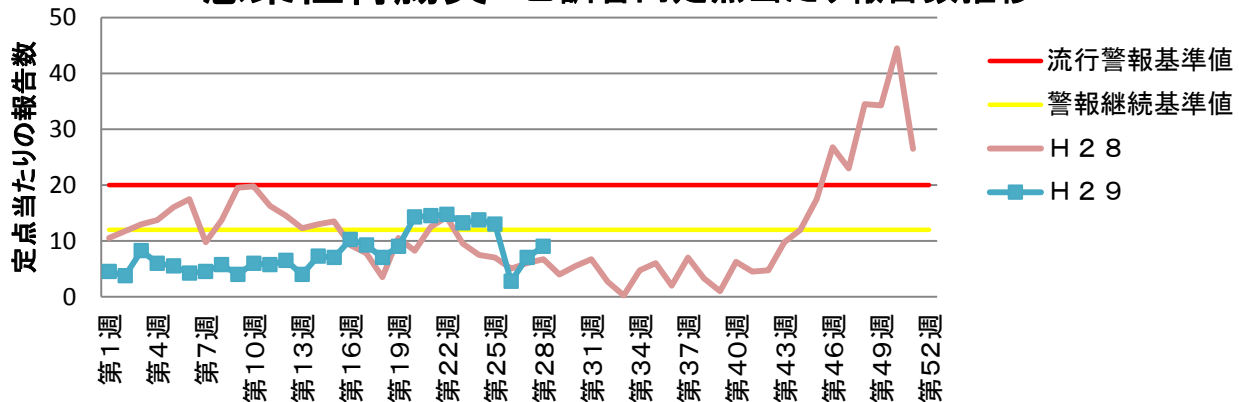
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



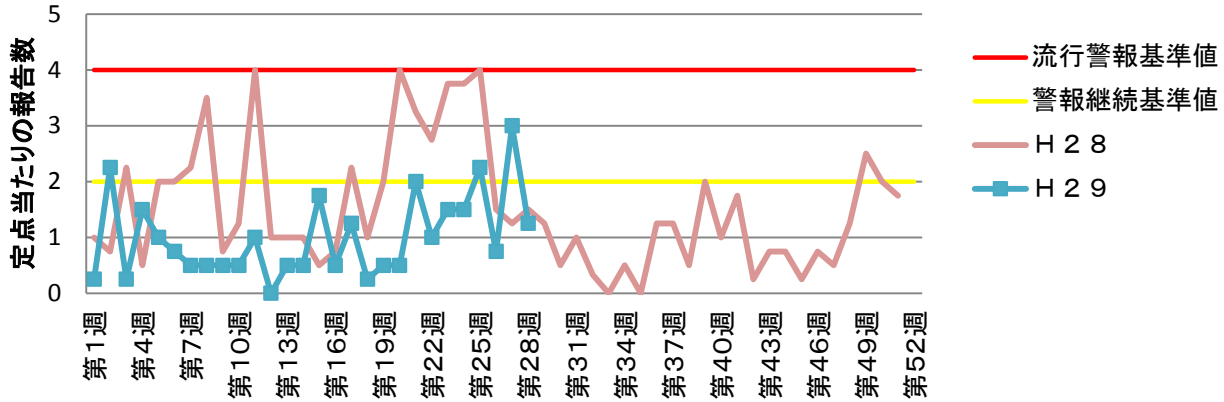
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



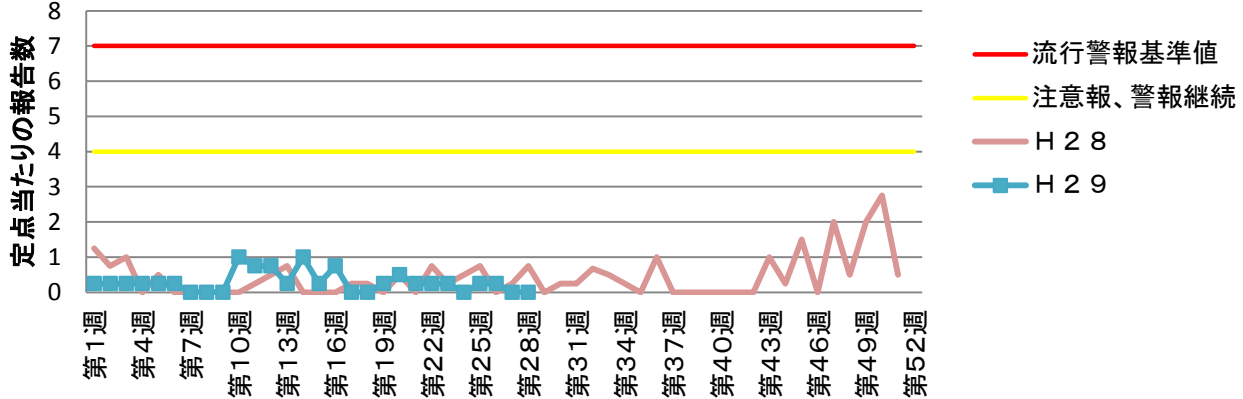
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



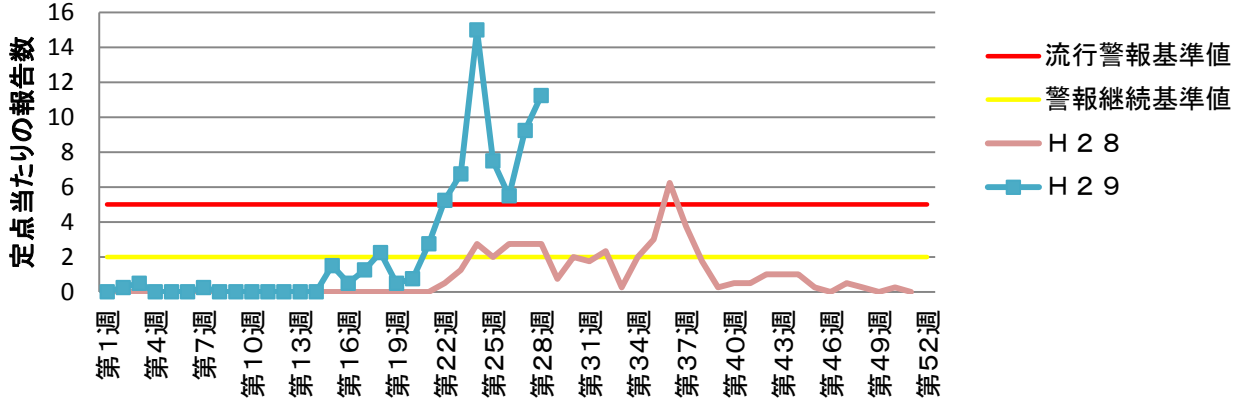
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



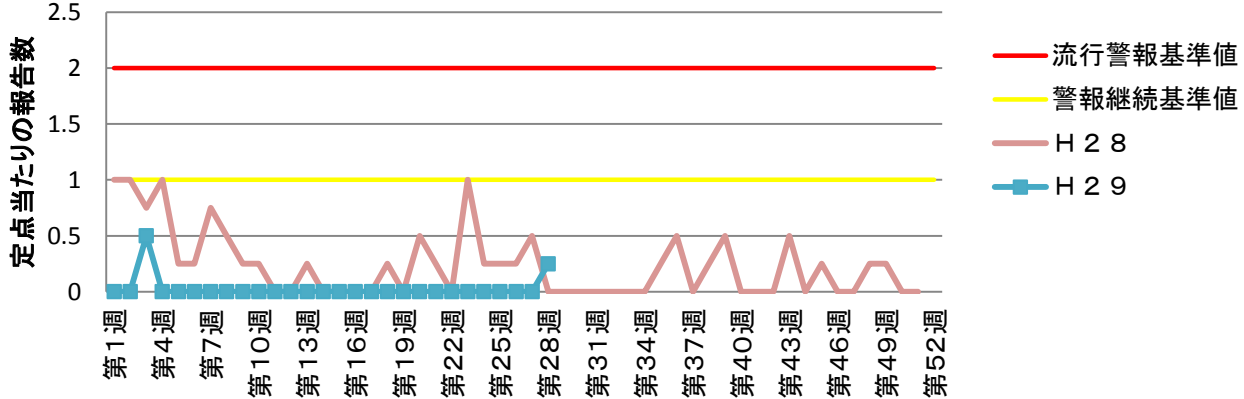
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



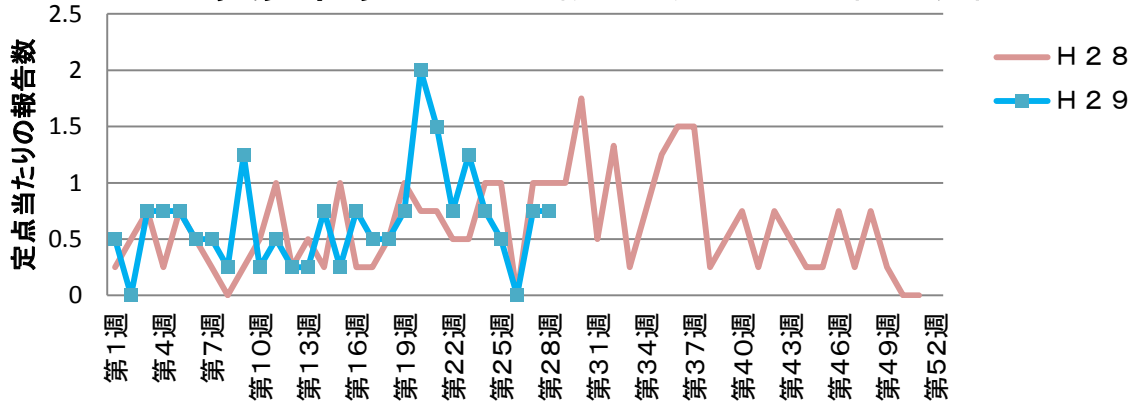
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



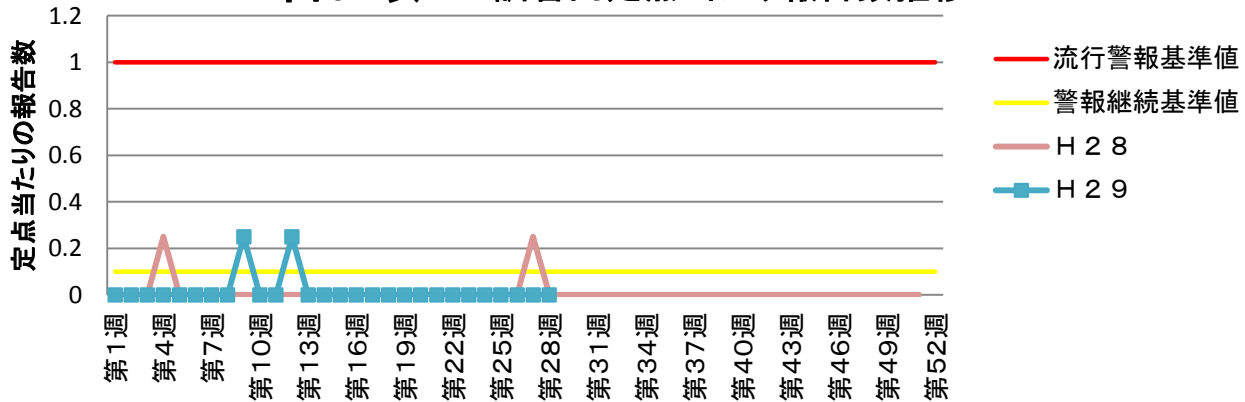
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



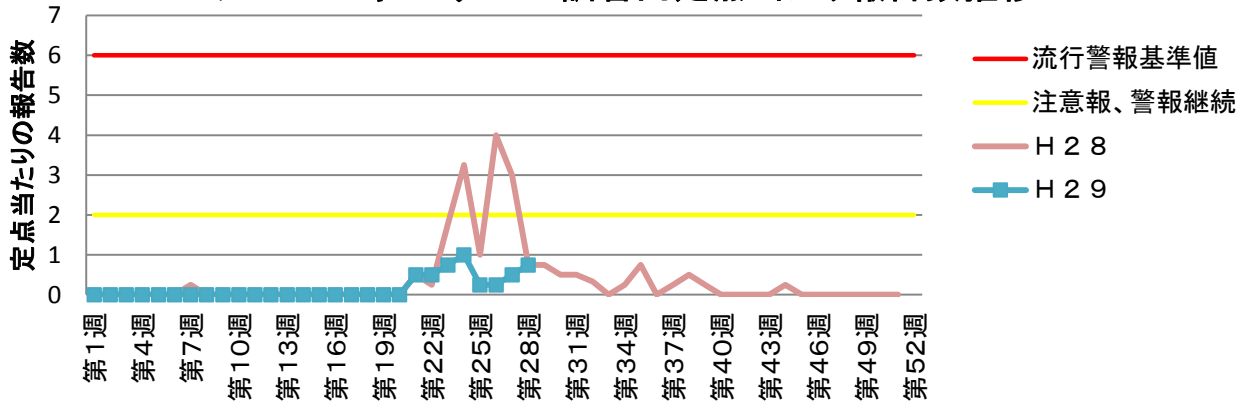
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

